



製材業

Lumbering



製材業は、原木から角材・板材などを生産する産業で、近年は輸入材の減少等の影響を受け、道産材の需要が増加しつつあると言われています。一方で、製材メーカーの従業員の高齢化、担い手不足が課題となっています。

ここでは、製材業を行う会社の事例から木材の製材工場における障がい者就労の取り組みを紹介します。



製材所での主な仕事		障がいのある方が担っている仕事の一例
原木搬入	仕入れた原木を工場内に搬入	
皮剥き・粗挽き	機械を用いて原木の樹皮を剥ぎ取り、寸法より大きめのサイズに切り出す	
乾燥	乾燥機を用いて材木の含水率を下げる	
選別・加工・結束	加工に使用する部材を選別 床板・壁板など用途に応じた加工 加工後の製品を結束	加工に使用する部材を選別 加工後の製品を結束
その他	工場敷地内での木材の運搬作業	工場敷地内での木材運搬補助 ※機械を扱う業務は担当していない

働きやすい環境をつくるための工夫点

仕事の割り当てと技術習得までのサポート

- ・製材作業の工程を細分化し、障がいのある従業員は、木材の選別や、加工した木材の結束・運搬といった機械を扱わずにできる業務を担当している。
- ・工場内の作業はコツをつかむまでに時間がかかるため、指導担当の先輩従業員がマンツーマンで丁寧に教えるようにしている。

安全に作業を行うための配慮

- ・持病（てんかん）を持つ従業員に対しては、発作による転倒等によってケガをしないように作業中はヘルメットをつけるようにし、作業内容も一部に限定している（他の従業員は帽子を着用）。

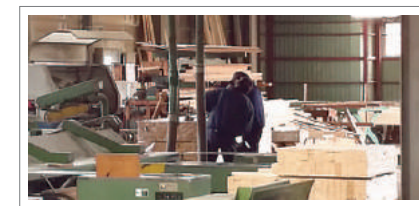
地域の団体との関わり

- ・障がい者雇用をしている企業と地元の社会福祉法人が連携し、情報共有を行っている。企業側は、障がいのある従業員の生活面について、専門的なサポートがあるため安心して受け入れることができ、社会福祉法人側は仕事時の様子を生活面のサポートに活かすことができています。
- ・苫小牧心身障がい者職親会※に参加し、会員同士の交流を行う中で、障がい者雇用に関する情報や動向を把握している。また、職親会が主催する永年勤続表彰等の取り組みがあることで障がいのある従業員本人の仕事へのモチベーション維持にもつながっている。

※ちよこつとメモ参照



加工に用いる部材の選定



加工が終わった木材の結束作業



工場内の様子



作業は外と屋内を行き来して行っている

職親会（しよくおやかい）とは



現在、苫小牧心身障がい者職親会を含め道内18の地域で展開されている職親会は、『ひとりぼっちの働く障がい者をなくすために』という考えのもと、地域ごとの実情に合わせた障がいのある方の就労支援と社会参加の促進を目的とした活動を行っています。障がいのある方を雇用している事業主、障がい者支援を行う福祉関係者、障がい者支援に関心のある会社等が会員となっており、主な活動としては、会員企業同士の職場見学会や親睦交流、合同入社式や永年勤続表彰、ジョブコーチ養成研修等があります。



商工業

Commerce and industry



国内に5万店舗以上出店しているとされるコンビニエンス・ストア。商品が目まぐるしく入れ替わり、サービスも多様化しています。「福祉型コンビニ」という形のコンビニエンス・ストアでの就労の事例から、小売店における障がい者就労の方法と工夫をまとめます。



コンビニエンス・ストアでの主な仕事		障がいのある方が担っている仕事の一例
開店前の準備	品出し ゴミ出し	品出し ゴミ出し
レジ業務	精算、商品袋詰め、 弁当・惣菜の温めなど	精算、商品袋詰め、 弁当・惣菜の温めなど
店内業務	商品の整頓、品出し、店内清掃など	品出し、商品の整頓
その他	商品発注、商品荷受け、検品、 フード調理、宅配便の対応、 コピー機・ATM 利用客への対応など	

働きやすい環境をつくるための工夫点

丁寧な声掛け

- ・作業の指示については、障がいのある従業員に対しても、他のアルバイト従業員と分け隔てなく接することを基本としている。
- ・商品の種類や陳列場所の把握は、品出しや商品の整頓作業をしながら覚えるように店長やオーナーが声を掛けて指導するようにしている。

他のスタッフとの連携

- ・障がいの有無にかかわらず一店員として店頭に出ており、客も特に障がいを意識

せず声をかけるため、すぐにフォローできるような従業員配置を心掛けている。
・特にレジ前は常にお客様と直接やりとりをするため、レジカウンター内に障がいのある従業員が一人にならないようにしている。

障がい者理解の促進への工夫

- ・来店者の障がい者理解の促進のため、一般的な商品以外に、市内の障がい者施設で製造しているクッキーやせんべい等の焼き菓子や手作り雑貨の販売コーナーを設けている。



レジ前での接客の様子



コンビニ店内



店舗は市役所庁舎内にある



店内では市内の障がい者施設で作られている焼き菓子などを販売

一般社団法人吹田市障がい者の働く場事業団

一般社団法人吹田市障がい者の働く場事業団は、市内の福祉事業所が共同で設立した法人で、主に、①授産製品販売のアンテナショップ運営、②一般企業から請け負った軽作業等を市内の複数の事業所で分担できるよう調整、③障がいのある方の求人開拓や就労支援、といった3つの事業に取り組んでいます。同法人ができたことで、これまで単独の事業所では受注できなかった大きな規模の仕事に対応できるようになったほか、ここで紹介した「福祉型コンビニ」の誕生にもつながりました。





観光業 [飲食業]

Tourism industry [Restaurant business]



福祉事業所の中で飲食業を営んでいる事例はたくさんありますが、ここでは、なかでも観光客にターゲットをおいている事例を紹介します。



飲食店での主な仕事		障がいのある方が担っている仕事の一例
接客	来店時の声かけ、座席誘導、注文、配膳	来店時の声かけ、座席誘導
フロア	テーブルセッティング、食事後の片付け、レジ ※バイキングの場合→料理(食材)や食器の補充	テーブルセッティング、食事後の片付け、レジ、料理(食材)や食器の補充
厨房	食材の準備、調理、調味、盛り付け、食器洗浄など	食材の準備、調理、調味、盛り付け、食器洗浄
その他	店内・店周辺・トイレの清掃など	店内・店周辺・トイレの清掃

働きやすい環境をつくるための工夫点

仕事の切り出しと役割分担

- ・毎日必要な食材の下ごしらえやサラダなど、日常化している作業を細分化して、作業の役割分担をしている。
- ・障がいのあるスタッフは、本人の特性にあった役割を専用の作業スペースにおいて取り組むこととしている。そうすることにより、仕事の流れを習得しやすくなり、自分の仕事として自覚してもらうよう配慮している。

見守りができるスタッフ配置

- ・厨房担当のスタッフは、自分の仕事をしながら障がいのあるスタッフの様子を見守り、必要に応じて声掛けや次の作業の指示を出すようにしている。
- ・ホールについても複数のスタッフを配置し、

万が一トラブルが発生してもスムーズに対応できる体制をとっている。

間違いを減らす工夫

- ・バイキングで出す料理を迷わずに設置できるように、料理名を書いたラベルを置く。
- ・食器は扱いやすく割れにくいプラスチック製を採用。
- ・調理に使う器具や調味料の分量、作業上の注意点など、仕事をする上で必要な情報は紙に書いて掲示する(特に厨房内)。

障がい者雇用の理解促進への工夫

- ・店で障がいのあるスタッフも働いていることがわかるよう店内に掲示をしている。



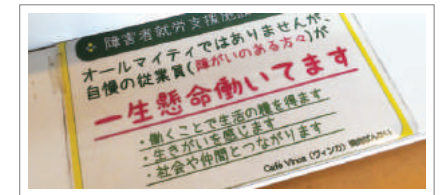
厨房内の作業は複数名で



厨房内の掲示物



プラスチック製の食器



障がいのあるスタッフが働いていることを伝える案内



「バイキング」形式にするためのメリット

バイキング形式を採用する利点としては、個別注文を取る必要がなく、ある程度接客を定型化できることに加え、料理や皿の補充等のお客様と直接コミュニケーションをとらない仕事が生じ、仕事の幅が広がることが挙げられます。また、団体客をターゲットとした場合、レストランまでの移動中のバス車内でバイキングの内容を伝えてもらうことで、到着後の説明を省き、スムーズに食事を楽しんでもらうことができます。